

2018年度・第27期  
外国人奨学生募集要項

*Announcement*

*of the 2018 ITO Scholarship Awards for Foreign Students*



公益財団法人 伊藤国際教育交流財団

*ITO FOUNDATION FOR INTERNATIONAL EDUCATION EXCHANGE*

\* 正式版は、10月1日（日）～10月31日（火）の間で  
ダウンロード出来ます。

公益財団法人伊藤国際教育交流財団では、日本の大学等の修士課程に留学する外国人留学生を対象に、奨学金の希望者を次のとおり募集します。

## 設立趣旨

公益財団法人伊藤国際教育交流財団は、<sup>しゅうきょうほうじんしんによえん</sup>宗教法人真如苑の開祖・故伊藤真乗大僧正の遺志により設立されました。

伊藤真乗大僧正は1906年3月28日に山梨県で出生。<sup>しんごんしゅう</sup>真言宗の<sup>そほうざん</sup>総本山・<sup>だいごじ</sup>醍醐寺においてすべての修行を終え、<sup>くわい</sup>仏教の中で最高の位である「大阿闍梨」となられました。

そして<sup>ぶつだ</sup>仏陀が生涯の終わりに遺言で遺されたお経「<sup>だいぼんねんぎょう</sup>大般涅槃経」を根本とする<sup>しんによえん</sup>仏教教団「真如苑」を開設し、人々の救いや人類の幸福に生涯を捧げ、1989年7月19日にご遷化されました。

伊藤真乗大僧正は教育の必要性に対し深い理解を持ち、生前には世界的見地に立って、学術研究への協力を<sup>つと</sup>努めました。また、社会への奉仕、発展途上国への教育助成を推進し、国家間の様々な問題に対応できる「人材の育成」に力を注がれました。

伊藤国際教育交流財団は、その<sup>よう</sup>様な伊藤真乗大僧正の遺志を受け継ぎ、誠実で才能に満ち、かつ<sup>どくそうてき</sup>独創的な青年たちのために奨学金の援助を行い、我が国と諸外国との相互理解を促進し、世界・地球に貢献できる「人材の育成」を目的としております。

## 設 立

1991年2月28日 文部省より認可  
公益財団法人移行日：2010年11月1日

## 基本財産

1,600,000,000円

## 役 員

- 〈理 事 長〉 小高俊彦 / 株式会社日立製作所 名誉フェロー、東京大学 客員教授
- 〈理 事〉 石黒静児 / 自然科学研究機構核融合科学研究所  
ヘリカル研究部基礎物理シミュレーション研究系 教授・研究主幹
- 大友康裕 / 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科緊急災害医学分野 教授  
同大学医学部附属 ER センター長
- 奥山倫明 / 南山大学人文学部キリスト教学科教授
- 岸田一雄 / 宗教法人真如苑 本部長
- 鋤柄佐千子 / 京都工芸繊維大学繊維学系 教授
- 馬越恵美子 / 桜美林大学経済経営学系 教授、株式会社日立物流 社外取締役
- 〈監 事〉 森川祐亨 / 公認会計士、有限責任監査法人トーマツ パートナー
- 和田正隆 / 弁護士
- 〈評 議 員〉 小林 孝 / DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン (株) IRCA リード・アドバイザー
- 佐渡島紗織 / 早稲田大学国際学術院 教授
- 立川壮一 / 藤田保健衛生大学 名誉教授
- 籾内佐斗司 / 東京藝術大学大学院美術研究科 教授、彫刻家
- 山本修一 / 日本大学理工学部 特任教授
- 山本隆子 / 神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科 教授

(2017年9月現在)

プログラム

●一般プログラム（10名程度 採用予定）

応募資格を満たせば応募可能です。研究テーマの分野は問いません。

●特別プログラム：2017年度より3年間限定で募集（2名採用予定）

応募資格を満たし、研究テーマが自然災害に関連する項目であれば応募可能です。例えば、「地球温暖化、異常気象、自然災害のメカニズムの解明や対策」「災害の予防・減災」「災害後の対応プロセス」「復興の支援方法」「被災者の心のケア」「BCP（事業継続計画）」「災害時の支援機器の開発・展開」などにつながる方。

※文系・理系問わず幅広い分野から応募可能です。

※特別プログラムに応募される方は、当プログラムの選考後、自動的に一般プログラムとしても再度審査が行われます。（ただし、採用はどちらかのプログラムになります。）

「チャンスが2回ある」ととらえて頂き是非ご応募ください。

ご自身の研究テーマが特別プログラムの対象であるか不明な場合は、当財団事務局まで、お問い合わせください。

奨学金の内容

生活費	月額18万円
奨学期間	2年以内（ただし、修士課程在籍期間に限る）

応募書類の提出締切

**2017年10月31日（火）当日消印有効（厳守）**

※出し忘れや郵便事情などによる紛失・遅れでも、選考に間に合わない場合は審査できませんので、予めご了承ください。配達の確認は配達記録、書留などをご利用ください。

- ① 申請者は、提出書類を揃えて当財団へ、「角2封筒」・「レターパック」等でお送りください。その際、封筒裏面右下に、1) 応募プログラム（「一般」または「特別」）、2) 出身国を必ず記入してください。
- ② 提出は郵送でお願いします。直接の持参は審査対象外となります。
- ③ 郵送先

〒160-0023

東京都新宿区西新宿3-8-4 BABAビル5階

公益財団法人 伊藤国際教育交流財団 外国人奨学金 係

## 応募資格

- ① 外国人留学生で、日本国の大学等の修士課程（またはそれに準ずる課程）に正規生として入学を予定している方で、成績、人格ともに優秀で経済的援助を必要としている方。  
専攻分野は問いません（博士前期課程は修士課程とみなし、応募可能です。）  
※現在、研究生の方でも2018年4月に修士課程入学を予定されている方は応募可能です。
- ② 2018年4月から入学する方、または2017年10月に秋入学している方。  
（2017年秋入学の方の奨学金支給期間は、2018年4月から修士課程修了までです。）
- ③ **2018年2月17日（土）または2月18日（日）**に行う面接選考を受けられること。  
2日間のうち、どちらか指定された日になります。日にちの変更はできません。
- ④ 当財団の奨学生として、ガイダンスに参加できること。
- ⑤ 2018年4月1日現在において、年齢が29歳以下の方が望ましい。  
※2018年4月1日現在で、年齢が30歳以上になる方は「今、留学を希望する理由」を提出してください。（P7, ロ. 対象者のみが提出する書類、10を参照）
- ⑥ 住民票の在留資格から、日本在住であることの確認ができる。（表記の例：留学、永住者等）  
今後、住民票を登録予定の方、または、海外より応募される方は事務局までご連絡ください。
- ⑦ 日本語ができること

※以下の方は応募対象外となります。

- 現在、修士課程に在籍している方（2017年秋入学の方をのぞく）
- 2018年4月に博士後期課程へ進学する方
- 研究生、研修生、専攻生、聴講生、交換留学生として進学予定の方
- 他の機関から奨学金の援助または特典を受ける方
- 在職したまま留学する方（休職者・現職への復帰予定者も応募対象外）

**提出書類**

提出書類には、イ.すべての方が提出する書類(下記1～7)と ロ.対象者のみが提出する書類(P7, 表ロ. 8～11)の2種類があります。

表中の1～11までの書類を揃えて、当財団宛に郵送してください。

イ.すべての方が提出する書類

申請者すべての方が提出する書類です。各書類の注意事項をよく読んで記入し、作成してください。

書類名	書式	言語	記入手段	
			手書	PC
<b>1. 申請願書</b> ※一般プログラムと特別プログラムは申請願書が異なるのでご注意下さい。	財団指定用紙 2018①～⑧ (A4 × 8枚)	日本語	○	×
<b>2. 推薦書1通</b> (2通まで提出可)	“推薦書 表紙”(指定用紙)と推薦文	日本語 または 英語 (上記以外は公証印付きの日本語訳添付)	○	○
<b>3. 成績証明書</b> *機械発行不可 国際室まで お問い合わせください	大学等にて発行 <u>コピー不可*</u>	日本語 または 英語 (上記以外は日本語訳を添付)	—	—
<b>4. 日本の印象</b> ※エッセイ (or 作文) を作成して下さい。	A4 2,000字程度	日本語	○	○
<b>5. 留学先(日本の大学院)における研究テーマ</b> ※具体的にまとめて下さい。	A4 2,000字程度 ※参考文献の文字は除く	日本語	○	○
<b>6. 語学力証明書</b>	コピーを提出	日本語	—	—
<b>7. 住民票</b> ※必ず在留資格、在留期間の明記があるもの	<u>コピー不可</u>	日本語	—	—

## 《共通注意事項》

提出書類の不足、指定以外の追加書類、指定に従わない書類は審査対象外となります。

次の諸注意を確認の上、作成してください。なお、提出できない書類がある場合は当財団事務局に連絡し、指示を受けて下さい。

※Eメールや手紙、代理人によるお問い合わせはご遠慮ください。

- ① 書類はA4用紙で全て黒のボールペン（※フリクションペン【消えるインクのペン】は不可）を使用し、楷書（アルファベットは活字体）で記入してください。修正液等は使用可です。
- ② 提出書類、作品等は一切返却できません。
- ③ 願書や書類等はホチキス等で留めないよう、お願いいたします。

## 《1. 申請願書》

※「一般プログラム」と「特別プログラム」の申請願書は異なります。

申請願書をダウンロードする際はご注意ください。

- ① 申請願書はすべて片面印刷してください。
- ② 申請者本人が日本語で、黒のボールペンを使用し(フリクションペンは使用不可)すべて手書きで記入してください。選択の設問にはどちらかに○印をつけてください。
- ③ 固有名詞は、すべて正式な名称とし、一切省略しないでください。
- ④ 「奨学希望期間」は、留学先大学院の修士課程に在籍する期間で、授業開始月から2年以内になります。（2018年4月～2020年3月）※秋入学者の場合：2018年4月～2019年9月まで
- ⑥ 「学歴・職歴」、「研究業績・賞罰」、「現在までに受けた奨学金」、「家族状況」で枠に書ききれない場合、願書の同じページをコピーし、続きを記入し、提出してください。  
各記入欄は、あたえられた枠からはみ出さないように記入してください。
- ⑦ 上記⑥以外は別紙による追加は認められません。

## 《2. 推薦書》

- ① 推薦書は申請者本人の経歴、人柄、大学院での研究などについてよく知っている方（出身大学や高等専門学校等の指導教員、在籍大学の指導教員、進学先予定大学の指導教員など）にお願いしてください。
- ② 財団指定用紙“推薦書 表紙”を必ず添付して提出ください。  
“推薦書 表紙”がない場合は審査対象外になります。  
別紙（推薦者の方へ：推薦書の記入について）の注意事項を守り、必ず厳封でご提出ください。

## 《3. 成績証明書》

- ① 複数の大学等（短大、高等専門学校、専門学校、交換留学等海外の大学を含む）に在籍した方は、すべての成績証明書原本<sup>\*</sup>を提出してください。  
\*機械発行の成績証明書は不可。
- ② コピー不可ですが、公証印が押されたものは提出可能です。  
(但し、公証印自体がコピーされている場合は、審査対象外です。) 国際室までお問い合わせください。
- ③ 英語または日本語以外の証明書の場合、別紙で公的機関（大使館・総領事館・大学等）から認められた日本語訳をつけてください。
- ④ GPAによる評価が行われている大学の場合は、GPAが記載された成績証明書を提出してください。

《 4. 日本の印象 》

- ① パソコンでA4用紙に2,000字程度（1,500～2,500字）の日本語でまとめてください。
- ② ページごとに氏名、頁数/総頁数を必ず記入して下さい。  
※最近、インターネットや他人の論文等から引用しているケースが見受けられます。あくまでも、ご自身の体験などをもとにして、自分の言葉でお書きください。

《 5. 留学先における研究テーマ 》

- ① 留学先での研究テーマについて、パソコンでA4用紙に2,000字程度（1,500～2,500字）の日本語で、具体的にまとめてください。
- ② ページごとに氏名、頁数/総頁数を必ず記入してください。

《 6. 語学力証明書 》

- ① (公)日本国際教育支援協会による日本語能力試験、または日本留学試験（日本語科目）の成績（コピー可）を提出。  
※日本語能力試験は必ずスコアと合否が記載された書類を提出してください。
- ② 証明書が提出できない場合は、「提出できない理由」と「日本語を学んだ経過」について、A4用紙にまとめて提出してください。  
※日本語学校の成績など、参考となる成績（コピー可）があれば添付してください。

《 7. 住民票 》

在留資格、在留期間が必ず明記されていること。

明記されていない場合は、審査対象外となります。

外国人登録をしている市区町村役場に請求してください。（※在留期間が申請中でも可）

今後、住民票を登録予定の方、または、海外より応募される方は事務局までご連絡ください。（※コピー不可）

**ロ.対象者のみが提出する書類**

対象者のみが提出する書類です。申請者は自分が該当するかよく確認の上、提出忘れがないようご注意ください。

書類名	対象者	内容
8. 作品	<b>芸術関係専攻</b> → 必須  <b>建築関係専攻</b> → 任意	a)音楽関係 →CD・DVD(録音時間は特に指定なし) b)絵画及び彫刻等 → 写真(枚数は特に指定なし) c)映像関係 → DVD 上記以外は財団事務局にご相談ください。 ※作品のサイズは大きくてもA3サイズ程度とする
9. 作品の評価書 (1通)	<u>8.の作品を提出する方</u> ※任意で作品を提出した方も含まれる	・提出した作品について、 <b>第三者の専門家</b> による <u>レターヘッド付の評価書を厳封にて提出</u> してください。※推薦書と同じ方でも可能です。 また、申請者は評価書の執筆者へ下記①の記入を、 <b>お願い</b> してください。 ①文章は <u>日本語</u> (日本語を母国語としない場合は英語)で作成し、申請者と執筆者との関係を明記して最後に、 <u>執筆者の役職・連絡先・署名(自筆)またはサイン</u> を記入してください。 <b>(パソコンでの作成も可)</b>
10. 「今、留学を希望する理由」	<u>2018年4月1日時点</u> <u>で30歳以上の方</u>	A4用紙 <u>1枚</u> に日本語で詳細に書いてください。 <b>(パソコンでの作成も可)</b>
11. 入学許可証 または 合格通知書、 在学証明書	2017年 秋入学の方 ----- 2018年4月入学で合格済みの方 ----- 応募時点で合否が決まっていない方	<b>在学証明書 (原本)</b> ----- <b>入学許可証 または 合格通知書のコピー</b> ----- <b>申請願書の1枚目にある試験日程等の記載欄を必ず記入してください。</b>



個人情報の保護について

申請願書に記載された内容、および提出書類は個人情報として取り扱われます。以下に基づき、皆さまにお知らせした内容以外の目的では利用いたしません。また、利用目的に照らして不要となった個人情報については、一定期間で保管した後、破棄いたします。

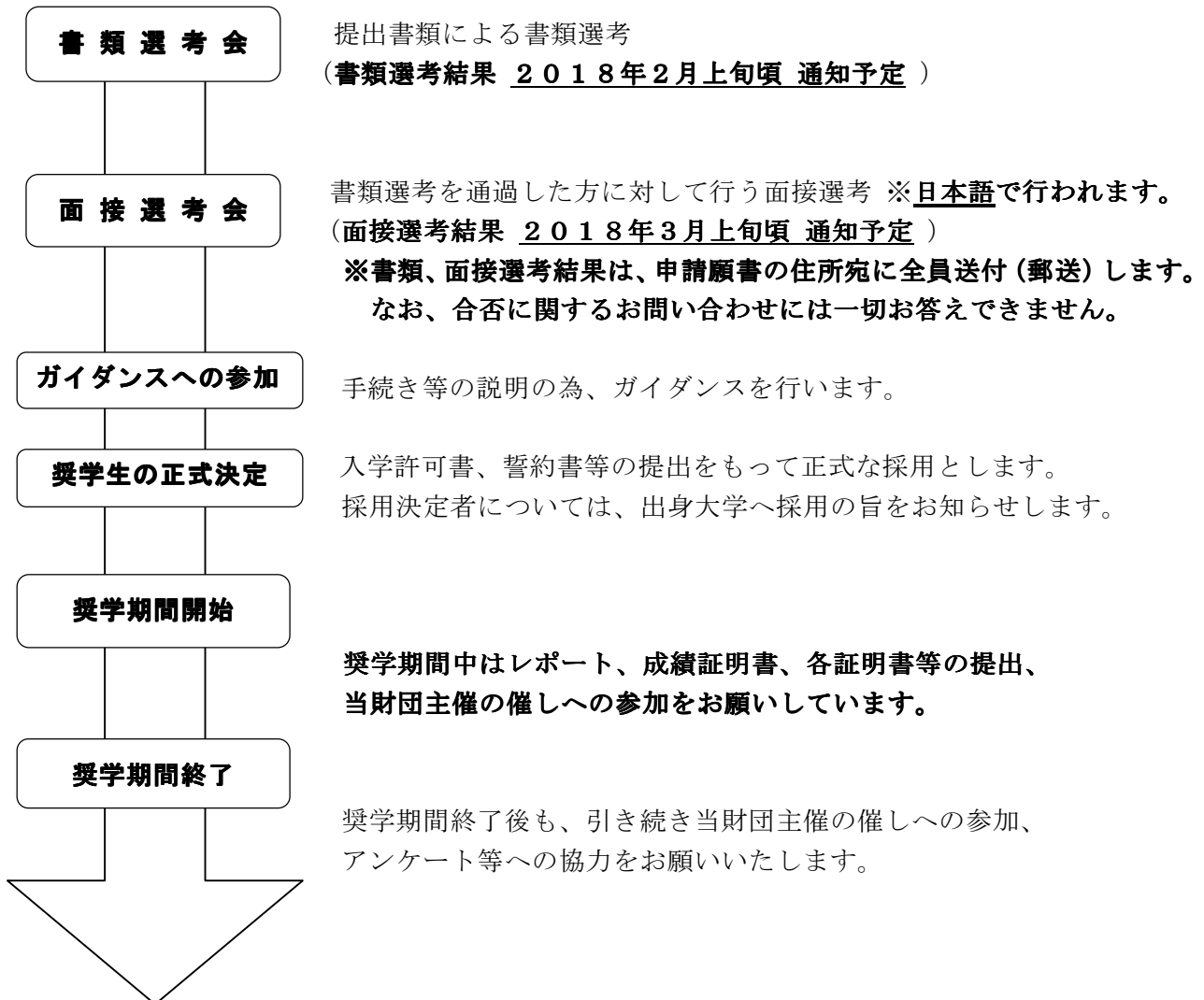
【事業内容】

- ① 外国人留学生に対する、奨学金給付事業
- ② その他目的を達成するために必要な事業（交流事業等）

【使用目的】

- ① 外国人奨学生選考のため（募集、選考、から採用決定まで）
- ② 奨学金支給に対しての諸手続き
- ③ 採用者（以下、奨学生）への交流事業のご案内、財団の機関誌等への掲載
- ④ 公官庁、関連財団等への奨学生の報告
- ⑤ 全般的な留学事情の把握、調査など、奨学金事業を充実するため
- ⑥ その他、採用された奨学生とのやりとりを適切且つ、円滑に履行するため

選考から採用後の流れ



お問い合わせ・郵送先

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-8-4 BABAビル5階  
公益財団法人 伊藤国際教育交流財団 外国人奨学金係  
電話 03-3299-7872 FAX 03-3299-7871  
Home Page: <http://www.itofound.or.jp>  
※土、日、祝日を除く、午前9時～午後5時まで受け付けます。  
なお、12月28日～1月3日は休日とさせていただきます。